

2019年度決算の特徴

一般会計

歳入1,648億円、歳出1,618億円

実質収支 27億円（前年34億円）

繰越財源約2.5億円余を引く→財調基金13億、繰越13億

単年度収支は △7.5億円（実質収支—前年度の実質収支）

歳入 1,648億円（前年比+105億円、6.9%）

市税 599億円（△2億円） 歳入全体の36%（前年度39%）

うち 市民税 276億円（△3億円）

個人市民税 234億円（△2億円）年金所得の減など

法人市民税 41億円（△1億円）企業業績の悪化

固定資産税 228億円（前年度並み）

都市計画税 46億円（前年度並み）

市たばこ税 26億円（前年度並み）

地方消費税交付金66億円（△2.5億円）

地方交付税 133億円（+22億円）社会保障関係費の増

基地交付金 22.9億円（前年並み）

国庫支出金 280億円（+34億円）ごみ処理施設建設など補助金の増

生活保護65億円、障害福祉40億円、児童手当33億円、再編交付金7.9億円

財産収入 4億円（△10億円）旧医師会館など売却収入2億円余

繰入金 54億円（+14億円）財政調整基金から繰入11→30億円

市債 204億円（+30億円）

このうち、臨時財政対策債 65億円（前年は66億円）

普通建設事業債167億円、減収補てん債1.2億円

（うちごみ処理施設の建設78億円）

収入未済額 25億円 うち市税19億円（前年度並み、2014年度37億円）

不能欠損額 1.5億円

自主財源 804億円（48.8%、前年51.4%）

依存財源 843億円（51.2%、前年48.6%）

歳出 1,618億円（+111億円、+7.4%）

人件費 286億円（△1.8億円）

扶助費 377億円（+19億円）子ども・子育て支援給付費が増

生活保護92、障害福祉111、子ども子育て78、児童手当48

投資的経費 260億円（+68億円）

環境費 193億円（+39億円）新ごみ処理施設の建設

民生費 591億円 (+28億円) 子ども・子育て支援給付費の増
 土木費 171億円 (+7億円) ソレイユの丘隣接地の購入
 教育費 153億円 (+19億円) 給食センターの建設

特別会計 歳入 1,112億円 (△69億円) 国保△53億、公債管理費△27億
 歳出 1,073億円 (△49億円) 国保△27億、介護+5億、

○ **国民健康保険**

歳入 468億円 (△53億円) 保険料 83、県 310、繰入れ 32
 収入未済額 21億円、不能欠損額 4.8億円、財源不足の補てん 0
 歳出 454億円 (△27億円) 保険給付費 306、国保事業費納付金 123
 60,393世帯、91,955人

○ **介護保険費**

歳入 383億円 保険料 83、国庫支出金 81、支払基金 90、県 50、繰入金 58
 歳出 360億円 (+5億円) 居宅サービス 137、施設サービス 105
 要介護・要支援の認定者 23,132人 (+574人)、
 2000年度では、認定者 7,592名、繰入金 21億円、歳出 95億円

○ **公債管理費** 192億円 (△27億円、定期償還 171、借り換え 21)

○ **後期高齢者医療費**

歳入 62億円 (保険料収入 52、繰入金 8)
 歳出 62億円 (広域連合納付金 60)

○ **財務比率**

財政力指数 0.817 (前年 0.823) 財政上の能力、1に近い程良い
 経常収支比率 102.4% (前年 102.1%) 財政の弾力性、低い程良い
 悪化は、扶助費に充当する経常一般財源の増等による
 公債費負担比率 16.6% (前年 16.8%) 公債費の負担状況、低い程良い
 実質収支比率 3.4% (前年 4.3%) 3~5%が望ましい
 (=実質収支額/標準財政規模)
 経常一般財源等比率 96.0% (前年 93.6%) 100を超えるほど良い
 (=経常一般財源等/標準財政規模)

○ **2019年度末現債高**

一般会計	1,862億円	(前年 1,788億円)
特別会計	5億円	(前年 65億円)
下水道事業会計	791億円	(前年 821億円)
水道事業会計	184億円	(前年 190億円)
病院事業会計	44億円	(前年 47億円)
総計	2,888億円	(前年 2,852億円)

年度末現在高の推移	総計	一般会計	臨財債等
1999年度	3,560億円	1,637億円	227億円
2005年度	3,304億円	1,743億円	498億円
2010年度	3,030億円	1,669億円	602億円
2015年度	2,921億円	1,746億円	764億円
2019年度	2,888億円	1,862億円	832億円

○ **財政調整基金** 年度末残高 103億円 (前年度末 116億円)

○ **水道事業** 給水人口 390,539人 (△3,511人)、給水栓数 195,962栓 (+220栓)
 年間給水量 5,805万m³ (△128万m³、△2.2%) 供給単価 168円
 収益的収入 109億円 (給水収益94、水道利用加入金1.7)、給水原価 154円
 当年度純利益 11億円 (前年17億円)、資金残額 67億円 (前年98億円)

○ **公共下水道事業** 処理人口 381,915人 (△3,308人)、水洗化率 96.4%
 収益的収入 156億円 (下水道使用料74) 使用料単価 169円
 当年度純利益 9億円 (前年8億円)、資金残額 26億円、汚水処理原価 153円
 一般会計繰入金 37億円 (うち資本費平準化債の償還分12億円)
 資本費平準化債 9億円 (前年18億円) 平準化債残高 209億円

○ **病院事業**

市民病院 入院患者数 84,820人 (△4,509)、外来患者数 171,976人 (△9,026)
 神奈川県難病医療支援病院に。9月に未稼働だった20床を稼働。
 2月から新型コロナウイルス感染患者の入院診療。小児科の入院は休止中。
 稼働病床：一般376、感染症6、(休床100)
 一般会計繰入金 8億円 (前年8億円)
 当年度純損失 1.6億円 (前年1.0億円)
 入院診療単価 58,874円 (△2,133)、
 外来診療単価 12,956円 (+552)

うわまち病院 入院患者数 115,534人 (+3,634)、外来患者数 137,796 (△4,676)
 稼働病床：一般337、療養50、(休床30)
 一般会計繰入金 4.8億円 当年度純利益 0.3億円
 入院診療単価 72,930円 (△147)
 外来診療単価 16,629円 (+1,033)

- 広報よこすかの発行 5,578 万円 年間 204 万部、配布手数料 2,013 万円 (@11 円)
- コールセンターの運営 3,235 万円 8:00~20:00、年間 61,936 件
- 久里浜・八幡第 1 第 2 踏切の撤去にむけた調査研究 675 万円
- 情報化基盤整備・運用 8.9 億円、情報システム管理運営 8.3 億円
教育ネットワークセンター事業 3.6 億円
- ふるさと納税 寄附 5,768 万円 (市外 5,493 万円)、推進事業費 2,520 万円 (返礼品等)
他市への寄附による市税の控除額 4 億円
- 個人番号カード交付事業 6,061 万円 (国費 5,888 万円) 12,578 件
- 資源物売り払い収入 缶・ビン・紙類など、1.5 億円、ペットボトル 1,968 万円
電力売却収入 1,947 万円
- 新ごみ処理施設建設 110 億円 (国 32 億、市債 76 億)、総事業費 231 億円
- 公園管理事業 市内全域で 22 億円、うち追浜公園など大規模公園に 12 億円
- 芸術劇場管理事業 5.4 億円 (市債残 37 億)、文化会館 0.7 億円、はまゆう会館 0.7 億円
- ユニバーサルデザインタクシー導入事業 255 万円 @15 万円×17 台
- 中学 2 年生のピロリ菌検査 596 万円 1819 人
- 児童手当給付 48 億円 (国 33 億、県 7 億) 23206 人
- 児童扶養手当 19 億円 (国 6 億) 父又は母と生計が別の 18 歳未満の児童 2913 人
- 放課後児童クラブ助成 6.2 億円 71 団体 (2066 人在籍)
わいわいスクール 337 万円 2 校
放課後子ども教室 848 万円 2 校
公設学童クラブの運営 1,108 万円 1 か所
- 青少年会館の運営 約 3,000 万円 年間利用者 約 40000 人
- 生活保護費 92 億円 (国費 65 億) うち医療扶助 43 億 4063 世帯 (H5. 2394 世帯)
- 障害者福祉費 111 億円 (国 40 億、県 22 億) うち自立支援給付費 77 億円
- 中学校給食の準備 昇降機の整備 8.9 億円、給食センター整備 11 億円 (国費 9 億)
- 美術館運営 5.5 億円 入館者 15 万人 (有料 9 万人)、観覧料・駐車場収入 8,494 万円